

東京医科大学(推薦) 基礎学力検査

2025年 11月 29日実施

第1問 物理

1 b 2 f 3 c 4 a

第2問 物理

5 e 6 d 7 a 8 c

第3問 物理

9 c 10 f

第4問 生物

11 c 12 c 13 b 14 c 15 e

第5問 化学

16 e 17 a 18 f 19 d 20 d

第6問 数学

21 d 22 b 23 b 24 d 25 c
26 b 27 a

第7問 物理

28 d

第8問 物理

29 d 30 b 31 f 32 e

第9問 物理

33 d 34 c 35 b

第10問 生物

36 b 37 f 38 c 39 a 40 b, d
41 d

第11問 化学

42 f 43 d 44 f 45 d 46 b

化学（第5問、第11問）

第5問は知識・計算ともに極めて基礎的であり、全問正解が必須の難易度である。中性子数・価電子数・電子数といった基本事項を正確に整理できているか、また与えられた表から相対原子量を求める手順を確実に実行できるかが問われている。

第11問では、まず化学反応式の係数を誤りなく設定することが最重要である。

設問1～3は標準的内容で、反応の種類や物質間関係を丁寧に追えば確実に得点できる。一方、設問4では中和反応の過不足の判定が本質であり、反応し切らずに残る成分を論理的に捉える力が問われている。

設問5は、酸化還元反応の進行度合いを電気伝導度の変化から読み解くという特徴的な形式であり、単なる計算ではなく、イオンの増減という観点から反応の過程を考察する応用的な問題となっている。

75%の得点率を目指したい。

物理（第1問、第2問、第3問、第7問、第8問、第9問）

10, 32, 33～35で差が付くと思われる。それら以外の設問は確実に正解したうえで、物理全体では18問中14問正解を目指したい。なお、物理の難易度は、難化した昨年度と同程度であり、また物理の問題数の割合が昨年度よりも増加したため、依然として物理履修者が有利だと思われる。

生物（第4問、第10問）

昨年度は大問2題が生物であり、本年度も大問2題が生物であった。

第4問 転写・翻訳に関する出題。

DNAと転写・翻訳に関する出題だった。計算問題で差がつくのではないだろうか。

第10問 細胞・代謝・血液に関する小問集合。

生物基礎から、生態系分野を除いて、やや広く出題された。心拍出量に関する問題はやや難しく感じたであろう。

なおYMSの推薦対策授業では、心拍出量に関する問題を取り上げていた。テキストにおいては、DNAの構造に関する問題、転写と翻訳の問題、真核生物と原核生物を見分ける問題、交感神経の作用に関する問題を取り扱っていた。

総合すると生物の難易度は教科書傍用問題集程度であったと言えるが、正誤問題を正確に解けたかどうか、また初めて見る設定の問題に対して理解ができたかによって差がついたであろう。

数学（第6問）

21 集合からの出題であった。0,999...=1であるとの判断が難しい。他は迷うことはないだろう。 $p=3$, $q=5$ となる。

22 同じものを含むじゅず順列からの出題であった。左右対称形と左右非対称形の数だけ注意して数えたい。

23 半角公式を利用する問題であった。公式さえ頭に入っていれば非常に解きやすい。教科書基本レベルなのでここは落としたい。

24 漸化式からの出題であった。漸化式を解く必要はなく、周期性に気づけば答えはすぐに得られる。

25 双曲線の焦点からの出題であった。教科書基本レベルなのでここは落としたい。

26 微分係数からの出題であった。定積分で表された関数の微分で難度はやや高い。YMSの対策でも同様の問題を扱った。

27 曲線の長さからの出題であった。教科書基本レベルなのでここは落としたい。

26年度解答速報はメルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校
YMS

☎ 03-3370-0410 <https://ylms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ

福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE登録

